

誕生、成長親に感謝

三島市立中郷西中で25日、乳児と母親を招いて親の気持ちや命の大切さなどを学ぶ特別授業が開かれた。3年生30人が触れ合いや講話を通して、自身の誕生や親となる未来に思いをはせた。来校した親子3組の母親たちは「子供が年を重



乳児を抱きかかえる生徒＝三島市立中郷西中

三島・中郷西中生 乳児抱き思いはせる

ねるとともに母親も成長する」とし、育児の楽しさや気苦労を生徒に語り掛けた。

生徒は母親の協力で乳児を抱きかかえ、満面の笑みを浮かべたり突然泣きだしたりする赤ちゃんに、自らを育てた両親や、いつの日か生まれてくる自分の子供を重ね合わせた様子だった。成長や誕生への思いを詩にもしたためた。

石岡幹生さんは「赤ちゃんは想像以上に活発だった。両親に対して『自分を育ててくれてありがとう』という気持ちになった」と感慨深げだった。

赤ちゃんへのメッセージをつづった詩集を発行する「トツキトウカ静岡東部実行委員会」が主催し、県東部の母親団体「ママとね」のメンバーが企画した。